



# 医療・介護ICT連携の時代における かかりつけ連携手帳の活用

2015年9月9日  
日本医師会常任理事  
石川 広己

# 日本医師会のICT戦略

- 医療・介護情報連携の推進  
全国医療連携ICT化事例の集約と情報共有  
推奨例、推奨できない例の提示
- 医療情報ICT化の共通基盤の構築  
医療分野の電子化推進  
ORCA事業  
HPKI（医師資格証）認証局、HISPRO  
かかりつけ連携手帳・・・将来は電子的PHRに発展
- 医療等IDの創設  
医療・介護におけるマイナンバーの位置と医療等ID
- 医療情報ビッグデータ  
NDB、KDB、DPCデータ等の取り扱いに関与  
医療・介護における個人情報保護の整理

# かかりつけ連携手帳とは？

---

- 三師会（日本医師会・日本歯科医師会・日本薬剤師会）が提唱するアナログ的に医療・介護情報を連携する手帳。
  - 平成26年より原案の検討を開始
  - 平成27年9月 日本医師会で公表
- 提唱の理由
  - 全国の多くの地域でICTを用いた地域医療連携や在宅ケア連携が進められている。しかし様々な理由で全ての地域でICTを用いることは難しい。（2025年には無理）
  - しかし、こうしている間にも医療や介護は全国各地で行われてをいる。少しでも連携をすすめるべきで可能なところからICT利用でなくても連携していきたい。

# かかりつけ連携手帳のコンセプト

---

- かかりつけ医、かかりつけ薬局、かかりつけ歯科医、かかりつけケアマネージャー、かかりつけ訪問看護師などそれぞれの情報が共有できる、**患者単位の簡便**な手帳。
- 医療だけでなく地域包括に欠かせない**訪問看護や介護スタッフの活用**も想定。
- 現在使用のレセプトコンピューターなど既存のシステム（インフラ）を**最大限に活用する事**を想定。
- 手帳の構成・項目などが、**将来のネットワーク化（ICT化）**を見据えて作られている。
- かかりつけ連携手帳を活用する事で、医療従事者と患者との**コミュニケーション向上**も目指し**信頼される医療環境**を提供する。

# かかりつけ連携手帳は・・・ **アナログ連携のプラットフォーム??**



# かかりつけ連携手帳のタイトル

地域連携〇〇パスや〇〇ネット等、地域で手帳に名前をつけてご使用いただけます。

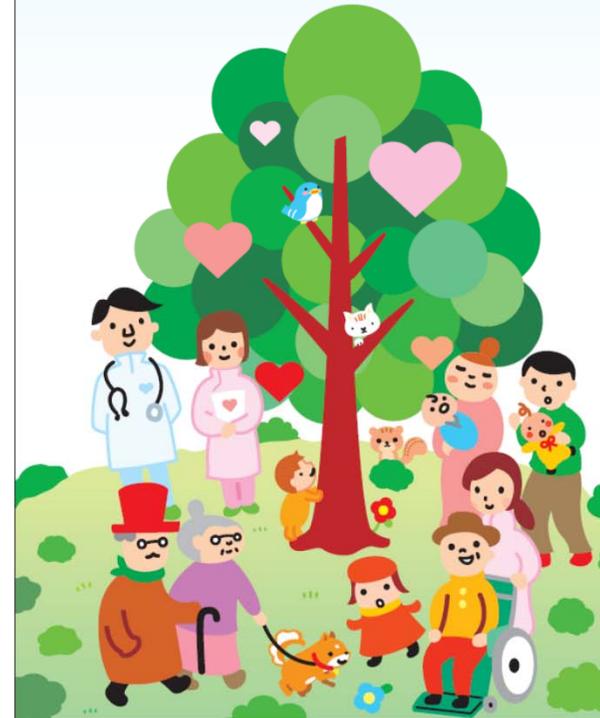


かかりつけ連携手帳

[Blank rounded rectangular box for name entry]

かかりつけ連携手帳

かかりつけれんけいてちょう



No. \_\_\_\_\_ 年 月 日

お名前 \_\_\_\_\_

# かかりつけ連携手帳の記入例1

**【記入例】**

**わたしの大切な情報**

氏名 ふりがな \_\_\_\_\_ 男  
\_\_\_\_\_ 女

生年月日 大正 昭和 平成 \_\_\_\_\_  
年 月 日 歳

住所 \_\_\_\_\_

医療機関の受付用の  
NFCタグや本人確認用の  
写真などを貼付する

非常時に連絡がつく電話番号

(本人) \_\_\_\_\_

(本人以外) \_\_\_\_\_

血液型 \_\_\_\_\_ (Rh )型

かかりつけ医療機関・介護事業所

駅前薬局 03-6827-76XX  
担当: 山野 みどり

日医クリニック 03-6835-38XX  
担当: 駒込 太郎

山王介護センター 03-6435-50XX  
担当: 原田 稔 (090-7655-23XX)

サト一訪問看護・介護ステーション 03-3531-78XX  
担当: 佐藤 花子

デンタルあさい 03-3571-20XX  
担当: 浅井 太郎

サト一福祉用具貸与サービス 03-5745-74XX  
担当: 佐藤 太郎

担当: \_\_\_\_\_

**【記入例】**

**おもな病気 (慢性疾患など)**

①脳梗塞 (左片麻痺)

②認知症

③高血圧症

④便秘

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**処方薬に関する禁忌・注意事項**

禁忌はなし

抗凝固薬注意

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**アレルギー歴**

有 無 ケフラルでじんましん

\_\_\_\_\_

**副作用歴**

有 無 2011.2.5

\_\_\_\_\_

薬名 芍薬甘草湯で低カリウム血症

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**【記入例】**

**被保険者番号等**

医療保険 01010011

介護保険 1234567890

**介護保険認定状況**

介護度	認定有効期間
要介護3	2014年 10月 1日
	2015年 9月 30日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日

**服薬中の一般薬など・メモ**

2014.10/3 サト一福祉用具貸与サービス (佐藤)

①特殊寝台 (2モーター)

②特殊寝台付属品 (マットレス) の貸与

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**かかりつけのご利用方法**

- この手帳は、患者さんの持病やアレルギー歴、要介護度、かかりつけの医療機関や介護事業所で受けた治療や処方情報を、本人、家族、医療や介護のスタッフの皆で共有するためのものです。
- 最初の見開きページに、患者さん本人と家族、かかりつけの医療機関や介護事業所の担当者が、患者さんの基本的な情報を記入しましょう。
- ノートページには、かかりつけの医療機関や介護事業所の担当者が、患者さんの心身の状態や治療や処置、くすりの処方を記入します。日付と記入者名も書いてください。カルテや日記帳ではありませんので、診療や日常の出来事を詳細に書く必要はありません。治療や処置、お薬が変わったときや新しく処方されたときなど、重要なポイントを簡潔に書いてください。本人や家族が書き込んでもかまいません。処方シールや検査データを貼り付けることもできます。「おくり手帳」と併用してもよいでしょう。
- 歯科のカルテには「歯式」として歯のイラストが描いてあり、どの歯がどのような状態で、どのような治療・処置を行ったかが記録されています。この手帳には、もっと簡略化した「歯式」で記入しますので、どの歯を指しているのか、下図を参考にしてください。

歯式

右上	左上
87654321	12345678
87654321	12345678
右下	左下

〈正面から見た図〉      〈簡略化した歯式〉

**患者基本情報記入ページ**

氏名や連絡先、かかりつけ医療機関名や連携する介護事業所名等、主な病気や注意すべき服薬中のお薬、アレルギー歴等を記載

**介護関係情報等の記入ページ**

要介護度とメモ欄(メモ欄には介護レンタル品等の在宅環境やOTC等情報を記載してもよい)

# かかりつけ連携手帳の記入例2

## お薬手帳用ラベル等

\*かかりつけ連携手帳に貼り付けた場合、手帳加算の算定要件を満たしています。また、保険調剤薬局でラベルを貼り付けてもらっても、調剤報酬点数算定要件を満たしています。

(厚生労働省 保険局 医療課 確認済み。)

① 予定外  
**介護内容**  
 トイレ介助 バッド交換 全身清拭 洗面  
 部分浴(足) シャワー浴 移動・移乗介助  
 通院介助清拭(風呂) 清拭(ゴミ出し)  
 買物ベッドメイク・シーツ交換 服薬確認  
**バイタル**  
 血圧 136 / 98 mmHg  
 体温 36.5℃ 脈拍 80 回  
**様子**  
 食欲あり 食事量 完食 尿量 中  
**特記**  
 顔色は良く食欲もありました。  
**在宅支援事務所ロジック**  
 521 5UG3 石川専従(4)仲野幸子 3-2-1  
 TEL 076-209-1000 FAX

実施済 処方 外来 駒込太郎先生 朝  
 調剤師訪問依頼  
 Rp01  
 アリセプト0錠 5mg ○ 1錠  
 分:1:朝食後  
 Rp02

12/4 <訪問歯科> PM 13:30  
 7-----7 欠損 (総入れ歯)  
 7-4 2+2 4-7 欠損 (部分入れ歯)  
 3 3 歯周病  
 3 齧  
 ・左下の犬歯 むし歯治療  
 ・下の歯 歯石除去  
 デンタルあさい

歯式、治療内容、口腔清掃、指導内容などを書く。

訪問看護・介護の提供実施票

## 【記入例】

### 新たに追加処方されたお薬の内容\*

自院へ通院  
 入院になり、  
 夜眠れず (駒込)  
 11/30 <駅前薬局> 10/2の処方と追加のされた薬  
 Rp05  
 ロキソニン錠 60mg 1錠  
 14 回分  
 レンドルミンD錠 0.25mg 1錠  
 分:寝寝前 14日

繰り返す情報、特にお薬の do 処方などは、ラベル等を加工して、新しく処方されたもののみを貼りつける場合もある。その場合、いつの処方の do であるかを明示し、処方内容全体が迷子にならないよう注意すること。

12/4 <訪問歯科> PM 13:30  
 7-----7 欠損 (総入れ歯)  
 7-4 2+2 4-7 欠損 (部分入れ歯)  
 3 3 歯周病  
 3 齧  
 ・左下の犬歯 むし歯治療  
 ・下の歯 歯石除去  
 デンタルあさい  
 歯式、治療内容、口腔清掃、指導内容などを書く。

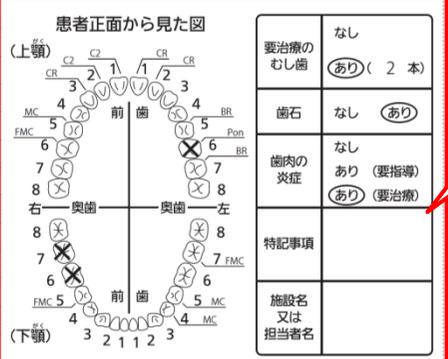
## 【記入例】

11/8 三田病院にて定期検査の結果  
 【院内検査 (1)】 1332634  
 ●●●●● (2015.01.18)  
 生化学 (1) 血液学  
 2015.01.18 (肝外) 2015.01.18 (肝外)  
 検体番号 2300359 検体番号 2300359  
 すべて至急 すべて至急  
 GOT 20 \*\* カルシウム \*\*  
 GPT 20 WBC 4.2  
 LDH 172 RBC 4.18  
 ALP 279 HGB 14.0  
 TP 6.7 HCT 39.5  
 ALB 4.1 MCV 94.5  
 UA 5.9 MCH 33.5H  
 UN 0.16 MCHC 35.4  
 CRE 0.81 PLT 243  
 T-BIL 0.8  
 T-CHO 172  
 C-BIL 0.1  
 NA 137  
 K 4.4  
 CL 103  
 CA 8.7  
 I-P 3.0  
 G-GTP 62H  
 CHE 285  
 TG 78  
 γ-GT 0  
 297 0  
 GLU 106  
 \*\* グリコ Hb/x \*\*  
 HbA1c/x 5.3  
 \*\* グリコ Hb \*\*  
 A1c - NGSP 5.7  
 ALB (G) 4.2

検査データを切り貼りする

検査結果データラベル

# かかりつけ連携手帳の記入例3



患者正面から見た図  
(上顎) (下顎)

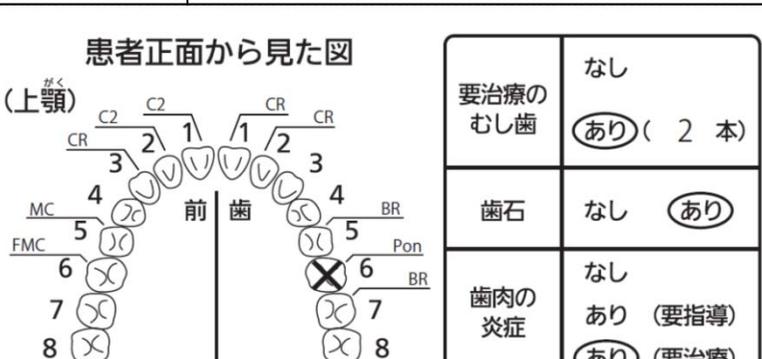
要治療のむし歯	なし
歯石	なし (あり)
歯肉の炎症	なし (あり (要指導))
施設名又は担当者名	

歯の状態記号：健全歯 / むし歯 (未処置歯) C  
処置歯 O 喪失歯 △

27年 6月 11日診査		施設名又は担当者名													
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

歯科\_歯式ラベル

- 内服・頓服・外用
- 1) 【般】アトルバスタチン錠 5m
- 【般】ドネペジル塩酸塩口腔内
- 【般】ロサルタンK錠 100m
- 【般】アルファカルシドール錠
- 【般】アムロジピン口腔内崩壊
- 【1日1回朝食後に】
- 2) 【般】ロキソプロフェンNa錠
- 【般】アルジオキサ錠 100m
- 【痛む時に】
- 3) 【般】フェルピナク軟膏 3%
- 【1日1回就寝前に】
- 注射・点滴
- 1) プラリア皮下注 60mg シリン
- 検査
- 1) 骨塩定量検査 (超音波法)
- 2) 末梢血液一般
- 3) B-V
- 画像
- 1) 透視診断
- 造影剤使用撮影 (アナログ撮影)
- 61010
- 検証 太郎様
- 診療日平成27年 月 5日



患者正面から見た図  
(上顎) (下顎)

要治療のむし歯	なし
歯石	なし (あり)
歯肉の炎症	なし (あり (要指導))
施設名又は担当者名	

歯の状態記号：健全歯 / むし歯 (未処置歯) C  
処置歯 O 喪失歯 △

27年 6月 11日診査		施設名又は担当者名													
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

医師 : 先生

診療日 : 2014年07月09日(水)

<処方>

[アダラートCR錠 10mg] 1

【1日1回朝食後に】 14日分

<注射>

皮下、皮下及び筋肉内注射

静脈内注射

[ハイスコ皮下注 0.5mg 0.05% 1mL] 1

<処置>

[皮膚欠損用創傷被覆材 (皮下組織に 100 至る創傷用・標準型)]

医科診療行為ラベル

歯科\_歯式ラベル (開発中)

医科診療行為ラベル

# 在宅医療・介護連携推進事業の 情報共有ツールとして

---

- かかりつけ連携手帳は、患者自らの健康管理のために必要な、様々な諸記録も記載し、個人の健康の増進に向けた自主的な努力を促進するためにも利用可能
- 三師会は、基本項目を示すだけ
  - 運用地域の特性に合った、オプションページを追加すれば、活用の幅は広がり地域に根付く

1. 特定健康診査
2. 特定保健指導の記録
3. 健康診査
4. 健康教育
5. 健康相談
6. 機能訓練
7. 訪問指導の記録
8. 生活習慣行動等の把握
9. 医療の記録
10. 介護予防手帳など

# 在宅医療・介護連携推進事業の8事業

## ■ 介護保険の地域支援事業

- 市区町村を実施主体として平成27年4月より順次実施し、平成30年4月には全市区町村で実施される

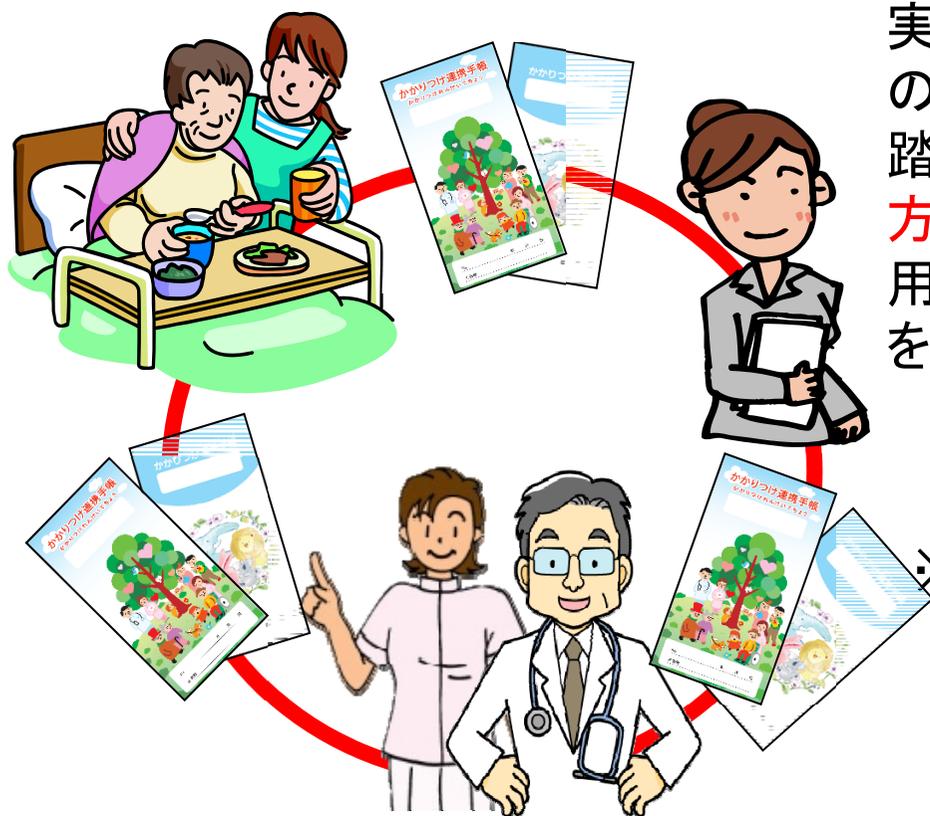
## ■ 具体的な8つの取り組み内容

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

かかりつけ連携手帳で！！

# 医療・介護関係者の情報共有の支援

情報共有の手順等を含めた**情報共有ツールを整備**し、地域の医療・介護関係者間の情報共有の支援を行う。



実際に情報共有ツールを使用する地域の医療・介護関係者等の意見を十分に踏まえ、「**情報共有ツールの様式**」「**使用方法**」「**活用・手順等を定めた手引き**(利用者の個人情報の取り扱いを含む)」等を策定。

※情報共有ツール:**かかりつけ連携手帳**  
連絡帳・連絡シート、情報共有シート  
ファックス、電子メール等  
地域連携クリティカルパス等

# システムからのアプローチ(ラベル対応)

『正確』・・・各種システムとの連携による「手書き」、「転記」ミスによる事故未然防止  
『省力』・・・「入力」と「手書き」による二重業務改善(効率化)

■ お薬手帳用ラベル(処方ラベル)

■ ORCAとの連動(病院・診療所)

■ 調剤薬局システムとの連動

■ 各種検査データラベル

■ 電子カルテシステム等との連動  
(病院・診療所・健診機関等)

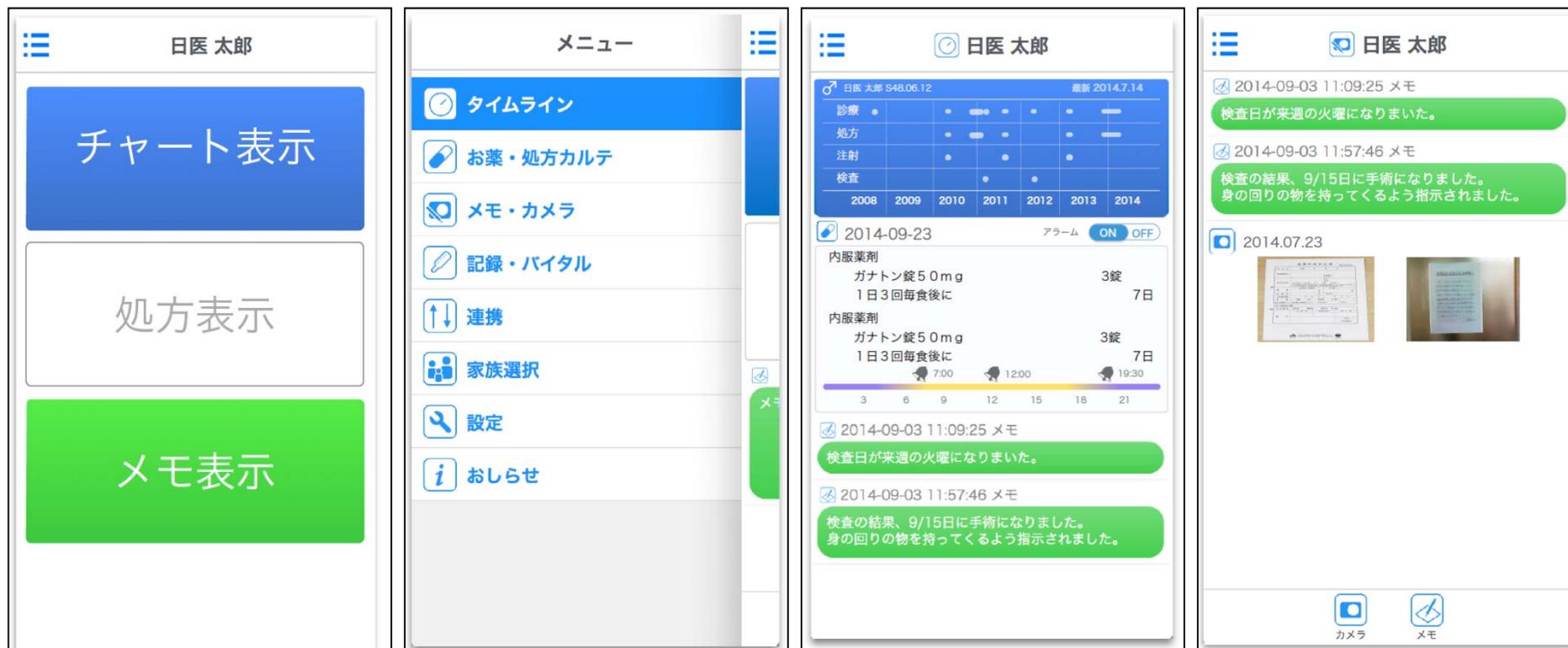
■ 歯科治療・処置の歯式ラベル

■ 歯科レセコン  
(訪問歯科システム)等

■ 訪問看護・訪問介護の実施記録票

■ 介護システムとの連動  
(訪問看護ST 訪問介護、その他施設)

# そして・・・電子版かかりつけ連携手帳へ



鋭意開発中・・・

# かかりつけ連携手帳は・・・ アナログ連携のプラットフォームから



かかりつけ連携手帳は・・・

# IT連携へのプラットフォームへ



# 関連情報は日医ホームページへ

---

## かかりつけ連携手帳のページ

◇要件定義や製本用イメージファイル等を掲載します。

トップページ>>お知らせ  
>>日本医師会から国民の皆様へのお知らせ>>かかりつけ連携手帳

[http://www.med.or.jp/people/info/people\\_info/003808.html](http://www.med.or.jp/people/info/people_info/003808.html)



※会見終了後、本日中に公開します。